



高輪だより

令和8年度5月号
港区立高輪幼稚園
園長 佐々木勝世

わくわく ぽかぽか
みんなえがおの
たかなわようちえん



園・家庭・地域が一体となって

新年度になって、ひと月が過ぎようとしています。

3歳児うさぎ組は、最初の1週間、5歳児すみれ組のお兄さんお姉さんに保育室まで送ってもらったこと（今年度新たにスタートした『お迎えタクシー』の取組）や、先生と一緒に遊んだりすることで、少しずつ幼稚園に慣れて、安心して過ごせるようになっていきます。

4歳児うめ組は、保育室が2階になっての新生活が始まりました。すぐに新しい環境に慣れて、やりたいことを見つけて遊び始めています。園庭では、花がらを使った色水作りなどを楽しんでいます。

5歳児すみれ組は、3歳児のお世話をしたり、誕生会で司会をしたりして、幼稚園の最高学年としての生活がスタートしました。大型積み木や砂場で大きなシャベルを使えるようになったことで、年長組になった喜びを感じています。

2歳児もも組・みかん組は、保護者から離れることがまだまだ不安な子もいますが、それでも保育室や砂場で楽しいことを見つけて遊べるようになってきています。上の学年の子どもたちが2歳児の存在に気付いて、やさしく関わろうとする姿も見られます。

昨年度の5月号でもお伝えしましたが、幼稚園では、『入園・進級して間もない時期には、こんなことを大事にしたい』、『今の季節だからこそできる自然体験をしてほしい』など、各学年の発達段階や時期に合わせた意図や願いをもって、子どもたちの指導に当たっています。こうした指導の方針や、子どもたちの成長の道筋を具体的に示したものが、毎月の園だよりに載せている **<保育のねらい>** です。ですから、保育のねらいは季節ごとの特色がありつつ、月を追うごとに内容が徐々にレベルアップしていきます。

毎月、我々教職員がどのようなねらいをもって指導をしているのかを、保護者や地域の皆様にも知っていただき、園・家庭・地域それぞれで見られる子どもの姿を互いに共有しながら、子どもたちのよりよい成長のためにできることを考えて、共に取り組んでまいりましょう！

園長 佐々木 勝世



先生と一緒にテラスで体を動かして遊ぶ3歳児。



園庭の花を使って、色水作りを楽しむ4歳児。



『お迎えタクシー』で3歳児を保育室に送り届ける5歳児。



3歳児と一緒に、テラスでダンゴムシを探す2歳児。

高輪幼稚園では、子どもたちの生活の様子や、その中にある「学び」について、積極的に発信しています！

【ホームページ】 <https://takanawa-kg.minato-tky.ed.jp>

【X（エックス）】 <https://x.com/takanawakg>



ホームページ



X エックス